

職員紹介

今月は、事務職や管理栄養士、ケアマネジャーの職員紹介を行います！
 ①子どもの頃の夢は？ ②趣味・特技は？ ③なぜこの仕事を選んだか？
 3つの質問に答えて頂きます。



事務職 窓付 仁

①物心ついたころには玩具を分解したり、改造したり自分で作りながら遊んでいた子どもでした。それが転じてか、小学5年生のときの作文に口ケットの設計技師になると書いていました。モノづくりが好きで少年でした。
 ②以前はゴルフや野球に興じていましたが、体の衰えには勝てず、なぜか息子の26インチのママチャリで、多摩湖自転車道約40キロの多摩湖周遊に勤しんでいます。少しでも体が衰えないよう無駄な抵抗をしています。
 ③秋月では施設管理、送迎、事務の仕事を担当しています。



管理栄養士 佐々木 紗菜

①お店屋さん(レジ打ち)に憧れていました。
 ②休みの日は買い物を楽しんでいます。食品や洋服・雑貨など、ジャンルを問わず、何を買おうか悩む時間に、幸せを感じます。
 ちなみに、最近こだわって買ったお気に入りには、白くてふわふわ・もこもこの部屋着です。リラックスできるひと時があるからこそ、日々のお仕事も頑張れます！
 ③もともとは食品販売の仕事をしていました。お客様に食材や料理の提案をする中で、「食についてもっと理解を深めたい！」と栄養士の学校に入ったのが今の仕事に就いたきっかけです。



ケアマネジャー 沼田利敬介

①幼稚園の頃は、バスの運転手になりました。ゴミ収集車や霊柩車等の変わった車もなぜか好きでした。小学生の頃は、動物が好きだったので、ペットショップの店員になりました(好感度アップ！)
 ②休日は、食べ歩きや買い物など、大体出歩いています。それと、年に数回、旅行(国内オンリー)に行きます。行く前に、宿泊・食事・観光名所・交通手段…等を念入りに調べてプランを立てます(本業にもこの情熱で向き合いたい所存です)。行くまであれこれ調べながら妄想している時間が一番楽しいです。
 ③私の母は十七年前に脳出血で倒れ、左半身マヒになり、現在も大阪の老人ホームに入所しています。認知症も進み、面会に行っても「あなた、私の息子にそっくりだね」と言っています。そんな母の介護がきっかけで、大阪の老人ホームで介護職として働き始めました。これからも、ご入所者とそのご家族、また現場の職員等、関わる人たちがそれぞれの想いを大切に結んで、一つのチームとして目標に向かって協力し合えるようなケアプランを作っていきたいと思っています。

晴雲秋月

H29.2 月号

◆発行日◆ H29.2.20
 ◆編集・発行◆ 社会福祉法人さくらが丘 特別養護老人ホーム 秋月 広報委員会
 ◆住所◆ 177-0045 東京都練馬区 石神井台6-1-11
 ◆電話番号◆ 03-5935-8928

「晴雲秋月」とは…心に汚れがなく澄み透けている例え。「晴雲」は晴れた空に浮かぶ白雲、「秋月」は秋の澄んだ空にかかる雲の意。

永らくお幸せに！
 3EF ユニット職員 及川さん



H29.2.15
 めでたくご入籍されました！おめでとうございます。

初詣やおみくじ…
 よいお年をお迎え下さい！



今年の初日の出は例年に増して大変美しく、よい一年を期待させる幕開けとなりました。

平成二十八年度
 フラワーアレンジメント



最新 Ver.

秋月では、2〜3ヶ月に1回程度、ボランティアの大澤先生によるフラワーアレンジメントが開催されています。

地域との交流
 石神井小学校 楽節

保育園や学校、他事業所との交流が定着しつつある秋月ですが、十二月には石神井台小学校の六年生の1クラスが遊びに来てくれました。子どもたちは、ショートステイの四階ユニットで、グループごとに影絵やあやとり、手品、折り紙などを披露してくれました。授業の一環として、数か月前から生徒さんたち自身が色々な下調べや準備をしてくれていたのだとか。

秋月の
 お誕生会のご紹介

秋月では、ユニットごとに「お誕生会」が開催されます。おやつが特別にケーキになったり(何種類もある中から、「本人の好みの味のものをチョイスします。)、お誕生月の方のリクエストで外出・外食レクを企画したり…。時にはご家族にご協力いただきながら、色々なお祝いがあります。

屋食にはおせち料理が振舞われ、お刺身や正月料理に舌鼓み。また、混雑を避けながら各ユニットごとに、氷川神社や三宝寺などへ初詣に出掛け、「おみくじは大吉だったよ！」「とにかく健康にお願いしたよ。」と満面の笑みで施設にお帰りになりました。今年も皆様健康やかに、幸多き一年になりますように！



ちょっと足場は悪いけど…いざ初詣！

防寒対策もばっちり！



無病息災！



健康招福！



ハロウィン仕様



母の日仕様



mas 仕様



芸術の秋仕様



夏仕様

今年も一年間、お花も勿論ですが、皆様の笑顔が輝くそんなひと時となりました！



まずはご挨拶！



あやとり披露！



懐かしい影絵！



Birthday Cake & 手作りガーランド



ご家族と外出



Birthday パルーン



ケーキのモチーフと♡

2月のフラワーアレンジメントから…
 テーマはバレンタインでした♡



施設長考

まだまだ寒い毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
年が明け、秋月では開設以来初めての恐れていた事態となりました。

一月十六日早朝、入居者様が突然の悪寒、発熱、受診をするといフルエンザ陽性の診断でした。それから二月八日まで約三週間、限られたユニットではありましたが多くの方が感染してしまいました。

それまでも感染症予防委員会が中心となり対策を講じてまいりました。しかしながら今回予測を上回る事態となり対応の再構築が必要であると考えています。この度の感染ルートを探りながら今後、最小限で抑え込む事ができるように対策を考えていきたいと考えております。

「心配をおかけしまして申し訳ありませんでした。」
そこで、インフルエンザに関する知識のおさらばをしたいと思います。

ある製薬会社が知識が豊富であろうと思われる医療関係者にアンケートを行い4人に3人以上(75%)以上が「知っていた」とこと、4人に1人(25%)以上が「知らなかった」ことを紹介します。

1. インフルエンザについて
4人に3人以上が「知っていた」こと

□感染経路は、3つである。
飛沫感染 接触感染 空気感染

□飛沫(ひまつ)感染とは、咳によつて出たしぶきを、直接吸い込むことで感染する経路である

□咳エチケットとは、咳をする際にしぶきを外に飛ばさないよう、袖口で口を覆ったり、積極的にマスクを着用することである

□不織布製マスクを着用していても顔とマスクの間から空気が漏れて入るため効果を過信してはならない

□接触感染とは、ウイルスが付着した手で、口や鼻を触れて粘膜を介して感染する経路である

□こまめな手洗いや、汚れた手で顔を触らないことも対策である

□急速に始まる三十八度以上の発熱とそれに伴う咳、全身倦怠感、咽頭痛などはインフルエンザによる症状の可能性が高い

□インフルエンザに感染して発熱した場合には、脱水にならないよう水分摂取を心がける

□呼吸が苦しい、胸が痛いなどの症状があれば急いで病院に行く

□インフルエンザワクチンを接種しても、インフルエンザに感染しなくなるわけではない(入院や死亡などの重症化は予防する)

□医療機関を受診してインフルエンザの簡易検査で陰性でも、発熱がある場合には出勤する事は望ましくない

2. 4人に1人以上が「知らなかった」こと

※()内は知らなかった人の割合
□感染者から2メートルの距離をあけることで、自分が感染するリスクを大幅に下げられる(咳によるしぶきは1〜2mしか飛ばないため)(33%)

□感染者が2メートル周囲にいないければマスクは特に必要ではない(69%)

□感染者が使用したリネンや食器などは通常の取り扱い方法でよい(48%)

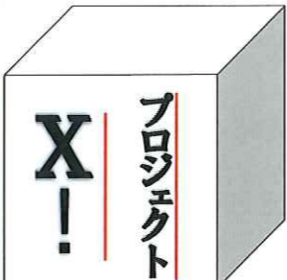
□手がよく触れる場を水拭きすることは、接触感染の対策になる(30%)

□インフルエンザウイルスはドアノブや机の表面などの環境中に存在した場合、2時間から8時間は感染力が持続する(62%)

□現段階では、同居の家族に感染者がいても症状がなければ感染させる可能性が少ないため職場に出勤してもよい(43%)

いかがでしたか？
これはほんの一例ですが、意外な項目もあったことと思います。情報の多い現在だからこそ、我々が正しい知識を持つことが大事です。

インフルエンザなど感染症を拡大させないように日頃から注意できるとよいですね。
目に見えないウイルスとの戦いではありませんが、まずは決められた事(手洗いうがいなど)を確実に行い、面会される皆様もご協力のほど、よろしく願っています。



地域に関われた施設づくりを目指して

広報・イベント委員の挑戦

お陰様で、秋月も平成二十九年三月一日を以て開設から四周年を迎えることになりました。四周年を振り返ると、長かったような、短かったような感慨深い気持ちになります。これもひとえに入居者・家族の皆様のお力添えのおかげです。職員一同、より一層精進していきますので、今後とも宜しくご理解・ご協力賜りますようお願い致します。

さて、ここでは、広報・イベント委員が中心になって企画する、四周年記念祭についてご紹介いたします。

四周年記念祭、ということ、何をしたらいいか、委員会でも実に半年間もの長い間、頭を悩ませてきました。食べ物やゲームのお店を出してはどうか？ バザーをやつてはどうか？ 介護施設なのだから、介護についての講演会をやつてはどうか？ etc. 色々な意見が出ました。

そこでキーワードになったのは、「地域とのつながり」ということでした。
開設から丸四年を迎えようとしている今、地域から秋月に求められていることは何だろうか？ 何を以て、地域貢献ができるだろうか？
「家族以外の外部の方を招いての催し、というのは秋月で初めての試みです。まずは、今の秋月にできることを、と自分たちが普段行っていることを見つめ直し

ました。そして、来たる三月十四日、午前午後の二部構成で、地域に向けた小さなイベントを行うことにしました。ご入居の皆様へは、昼食に行事食のお膳を提供していく予定です。詳細は、廊下に掲示するポスターなどでご案内致します。

メインとなるのは、いつも「ピアノと唄の会」を行っているピアノ・川内麻紀さんによるコンサートです。

日々交流のある保育園さんに声を掛け、緑日と子どもコンサートで、交流のお礼を兼ねて楽しんでもらおう！ というのが午前中の第一部。
ぐつと勇気を出し、顔見知りの地域の方々や近隣の介護施設に声を掛け、生演奏を楽しめる喫茶店をやってみよう！ というのが午後の第二部となりました。

どんな催し物になるか、お招きする側の私たちも期待と不安が入り混じり、若干緊張しています。役割分担をした各広報・イベント委員は、万が一にも準備不足や不手際があつてはならないと、業務の合間を縫って打ち合わせを重ね、支度に奔走しております。
けれども、大切なのは、笑顔とおもてなしの気持ち！ お越し頂いた皆様に、少しでも秋月に親しみを持ってお帰り頂けるよう、施設一丸となって取り組んでいきますので宜しくお願い致します！

ボランティアの皆様のご紹介

十二〜二月に秋月にいらして下さったボランティアさんです。
有難うございました！ またお待ちしております！



秋月では、趣味・特技を披露して下さったり、車椅子の清掃や洗い物・お散歩のお手伝い等にご協力いただけるボランティアさんを募集しております。
詳細は、施設長 井上・介護課長 藤井まで！

1〜2月は感染症流行のため、各ユニットでのイベントも控えてましたが、暦の上ではもう春。梅見物かねてドライブに出かけたユニットもありました。2月にはフラダンス、3月にはエイサー等、ボランティアさんも続(！?) 来所予定です。余暇活動も、ますます充実させていきますように！